

# 秀麗富嶽十二景を歩く(会山行)

## 第八回 滝子山1610m

(報告)F澤ゆ

◎ 山行期日：2018年 6月17日(日)

◎ メンバー：F澤ゆ(L)、S藤さ、I上、N道、F野

今回は四番の「滝子山」1610m。中央線に乗る楽しみの一つに、滝子山を眺められることがあります。この山は、JR初狩駅とJR笹子駅との間の北側にどっかりと座っています。ここから笹子トンネルを越えると南アルプスの大展望が広がります。しかし、その大展望の前に、りりしく聳える滝子山は存在感のある山です。ピークは3つになっています。それで三つ丸とか三つ森とか言われていました。藤沢集落の登山口の案内板にはこの山の伝説が書かれています。「源頼朝の叔父にあたる鎮西八郎為朝は、伊豆から山伝いにやってきて、ここに住み着いた。のちに、鎮西ヶ池から古鏡や水晶の玉が出た。この玉を、いつもは山の中に隠しておき、早魃のとき、これを鎮西ヶ池に浸すと、たちどころに雨が降り出す」との事。この祠は藤沢集落の人たちの雨請の願いが詰まっているのでしょうか。沢の水も豊富です。頂上直下には水量はわずかですが清水が湧いています。

本日は曇天。JR初狩駅で4人が集合します。F野さんは一人で南稜を登るので山頂で合流の予定です。JR初狩駅から20号線沿いに歩き、中央高速道の下をくぐり50分ほど車道を歩くと、登山口に到着です。この日、藤沢集落の「沢神社」では多くの方々が石垣などの草刈や掃除をしていました。村の人に聞くと、この道は下山に使う人が多いとのことでした。

登山道は沢沿いの道です。しっかりと整備されています。昨年10月の台風で沢の中は荒れています。倒木が何本も沢に横たわっています。最後の水場を過ぎると道は急に厳しくなります。11時30分。檜平着。ここから男坂・女坂に分かれます。私たちは男坂に行きました。この辺りから頂上までは春蝉の鳴き声が響きます。深い霧の中、ヤマボウシの白い花が点々と咲いています。



可憐なヤマボウシ。

12時25分。山頂着。F野さんがいます。  
F野さんは12時15分に到着。富士山の  
展望はまったく無し。一面に雲海が広が  
り、高山の印象です。昼食を食べていると  
急に雲が開け、富士山が少し顔を出しま  
した。有り難い。大急ぎで写真を撮りま  
す。

山頂の北側には「白縫神社」の祠と「鎮  
西ヶ池」があります。ここにはクリンソウ  
が何輪も咲いていました。ピンクや紅が  
目に痛いぐらいの輝きでした。



滝子山山頂にて。

下山道はやはり沢沿いの道です。かなり深い沢が続きます。途中で20本もの固まった倒木がありました。こんな激しい倒木は初めてお目にかかります。昨年の10月の台風の物凄さですね。15時に予定通り道証地蔵の登山口に到着です。

F野さんの車がこの近くに止めてあるので、乗せていただきます。ここから「笹一酒造」まで一気です。歩くと約1時間。随分とショートカットをさせて頂きました。感謝です。

「笹一酒造」で軽く反省会。「鳥モツ煮」で笹一の純米原酒。喉に染みます。  
参加された皆さん。どうもありがとう御座いました。次は冬に残りの四座を登る予定です。

## 《コースタイム》

6月17日(日)

9:00 JR 初狩駅発—最後の水場 10:30-檜平 11:30-滝子山 12:25(昼食) 13:00 出発—難路の  
分かれ道 13:50-道証地蔵 15:00—笹一酒造(反省会)-JR 笹子駅 17:00